

平成28年度

事業報告書

平成28年度事業報告

平成28年度の国内経済は、所得、収益の伸びに比べ、個人消費や民間の設備投資において力強さを欠いた状況があったものの、アベノミクスの継続的な取組の下、雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調が続いたが、本県においては、震度7が連続した平成28年熊本地震の発生により、甚大な被害を受けたことから、一時急速に悪化したものの、復旧需要の増加や挽回生産の継続等を背景に緩やかに回復しつつある。

一方、トラック運送事業においては、燃料価格が一定水準を維持するなど短期的には経営の安定化傾向にあるものの、経済政策の一体的な推進による景気の好循環が進展する中で、少子高齢化や雇用・所得環境の改善が、結果として他の産業に比較し労働条件が厳しいトラック運送業界においては、ドライバー不足問題として現れているほか、長距離輸送事業者を中心とした改善基準告示問題、「働き方改革」等を背景とした労働時間の短縮等により、各事業者の経営は引き続き厳しい状況にある。

このため、当協会においては、厚生労働省、国土交通省との共催による「トラック輸送における取引環境・労働時間改善熊本県地方協議会」の開催やパイロット事業の実施により、トラック運送業界だけでは改善困難な長時間労働の抑制や適正運賃収受の実現に向け取り組みを進めたほか、全ト協と連携し、国等に対しては、高速道路料金の割引継続、自動車関係諸税の簡素化・軽減等の要望を、熊本県に対しては、熊本地震に係る高速道路料金の一定期間無料化措置等の要望やトラック運送事業に関する改善基準告示内容の見直しへの協力要請等の要望（※）を行った。

また、熊本地震については、会員事業者との連携を図りながら、熊本県及び県下全市町村と締結した「緊急物資輸送協定」に基づき、被災者への支援物資の輸送や熊本市の支援物資集約拠点の管理運営等に取り組んだほか、全国のトラック事業者から寄せられた義援金を被災会員事業者等に配布するとともに、被害からの復旧・復興を進めるため、会員企業数十社によるグループ補助金制度の活用を図った。

さらに、「生活と経済のライフライン」として、国内物流の90%を担うトラック運送事業者の「社会的な貢献」が正しく理解し評価され、その「地位向上」に繋げてゆくため、協会組織のあり方の検討ワーキンググループにおいて「支部の組織内化に係る論点整理」を行ったほか、事故防止大会の開催、無事故チャレンジ運動や環境クリーンキャンペーンの実施、交通事故防止用品の配布等による交通・環境対策の推進、安全性優良事業所（Gマーク）の拡大や特別巡回指導等による輸送秩序の確立、運輸・物流産業等企業合同説明会の開催や人材確保セミナーの開催による労働力確保対策の推進、労務管理や企業経営に関する各種セミナー、講習会の開催、アドバイザー体制等の拡充による経営基盤の強化、さらに広く県民の皆様にトラック運送事業の社会的な貢献を理解していただくための「トラックの日サンクスマッチ」等のイベント開催、マスコミ等を活用した広報活動に取り組んだ。

実施事業等の詳細については、各委員会の事業報告のとおりである。

【※ 県ト協の主な要望事項】

1. 一般財源化により課税根拠を失った軽油引取税の旧暫定税の廃止
2. グループ補助金の累次継続及び財源措置について
3. 熊本地震被害道路などの早期復旧について
新国道57号の早期建設と県道338号（八代不知火線）の早期復旧
4. 九州内高速道路料金の一定期間無料化措置の実施と営業用緑ナンバー
トラックの高速道路料金を上限10,000円化
5. 九州自動車道の植木IC～松橋IC間の営業用緑ナンバートラックの無料化
6. 高速道路の制限速度緩和実験（100→110km/時、普通車やバスを対象）について
営業用トラックも対象にすること
7. 熊本地震被災地域における代替え移転地の規制の弾力的運用について
8. 改善基準告示の弾力的運用について
9. モーダルシフト（大分～清水間のフェリー）の活用に係る利用料金の助成に
ついて
10. 熊本県トラック協会の移転新設（緊急支援物資輸送センター兼用）に関する
用地取得の支援について

〔総務・交付金運営委員会〕

1. 最重点項目

(1) 協会組織のあり方を検討

協会運営の活性化を図り、内部組織のあり方等について、検討を深めるため、組織のあり方検討ワーキンググループを設置し、次のとおり支部の内部組織化について、論点整理などを協議した。

座長：下川 公一郎（副会長）

副座長：林田 政樹（理事 熊本南支部長）

委員：濱邊 明任（理事 天草支部長）

丸尾 一夫氏（青年部会継運会）

伊藤 昭治氏（城南支部事務局）

臨時委員：稲田 大志氏（東秀優税理士事務所 主査）

オブザーバー：岩越 泉氏（熊本県商工観光労働部商工振興金融課課長補佐）

山下 敏文（監事）

第1回 平成28年4月11日（月）13：30～

第2回 平成28年11月9日（水）10：00～

第3回 平成29年1月19日（木）13：30～

第4回 平成29年2月21日（火）10：00～

場所は全て、熊本県トラック協会研修センター会議室

(2) 各種要望・陳情活動の積極的な推進

トラック運送事業の社会的な貢献が適正に評価され、健全な経営ができるトラック運送業界となるよう平成29年度の税制改正に関する要望や平成28年に発生した熊本地震に係る業界の要望について行政機関をはじめ荷主団体や議会等に対して、次のとおり陳情要望を行った。

① 自民党熊本県支部連合会に対する陳情要望

日時：平成28年9月16日（金）午後3時00分～

場所：熊本県議会棟役員室

対応：（協会）正副会長・委員長、専務理事、事務局次長

（県連）前川收幹事長、松田三郎総務会長、藤川隆夫政務調査会長他

② 熊本県に対する陳情要望

日時：平成28年10月17日（月）午前10時30分～

場所：熊本県庁

対応：（協会）正副会長・委員長、専務理事、事務局次長

（県） 奥菌惣幸商工観光労働部長、伊藤英典商工労働局長、原山明博商工振

興金融課長他

③ 県選出自民党国会議員に対する陳情要望

日時：平成28年11月14日（月）午後7時00分～

場所：東京ドームホテル

対応：（協会）正副会長・委員長、青年部会継運会部会長、専務理事

（国会議員）野田毅氏、園田博之氏、金子恭之氏、坂本哲志氏、木原稔氏、
松村祥史氏、馬場成志氏、藤木眞也氏

(3) 大規模災害発生時における緊急輸送体制の確立

① 熊本地震に係る各種対応

平成28年4月14日（木）及び4月16日（土）に発生した熊本地震において、当協会は熊本県、熊本市などと締結している災害発生時の物資輸送協定に基づき、次のとおり、緊急物資輸送を実施した。また、熊本市の要請により同市の物資拠点となった“うまかな・よかなスタジアム”に物流経験のある専務理事を派遣して、拠点の運営管理を会員企業の輸送幹事会社とともに対応し、フォークリフト、荷役作業員、資機材等の手配対応などを行った。

(ア) 熊本県対応分

車両対応

平成28年4月15日（金）～4月22日（金）まで延30両対応

(イ) 熊本市対応分（熊本市水道局を含む）

車両対応

平成28年4月15日（金）～11月7日（月）まで延539両対応

物資拠点運営のための物流専門家等派遣

物流専門家、フォークリフト（オペレータ含む）、荷役作業員等の対応

平成28年4月17日（日）～11月5日（土）まで対応

資機材手配対応

平成28年4月17日（日）～平成29年2月28日（火）まで対応

(ウ) 益城町対応分

車両等の対応

平成28年4月17日（日）～10月31日（月）まで延361両対応

(エ) 宇城市対応分

車両対応

平成28年4月17日（日）、12月7日（水） 10トン車3両対応

(オ) 宇土市対応分

車両対応

平成28年4月28日（木） 4トン車1両対応

また、会員企業に対しては、震災直後より被害調査を数回に亘り実施し、被害把握に務め、公益社団法人全日本トラック協会を通じて、全国のトラック協会、関係団体などからいただいた義援金（全ト協を通じた義援金90,000千円、その他の義援金148,276千円）については、全会員事業所に対して見舞金34,850千円（737社）、被害のあった会員

事業者に対して、義援金48,013千円（133社）を被害額等に応じて贈った。

その他に、「がんばろう！！熊本！！」の車両貼付用ステッカーを製作し、会員企業の車両数に応じて、会員企業へ配布し熊本復興の旗印とした。

行政機関等に対しては、今回の地震により大きな被害を受けた熊本のシンボルである「熊本城」の再建修復費用として熊本市に対して義援金10,000千円を贈呈し、熊本県に対して、3,000千円、国の重要文化財である阿蘇神社に2,000千円を寄贈した。

協会正副会長らは、5月3日（火）被害の大きかった嘉島町、御船町、益城町、西原村、南阿蘇村、阿蘇市を訪問し、各首長らに対して見舞対応を迅速に行った。

また、各関係団体等からの講演依頼に対して、協会長、専務理事等により、当時の緊急物資輸送対応などについての講演活動を行い、トラック輸送の重要性を伝えた。

・日 時：平成28年11月7日（月）午前10時30分～

場 所：熊本県トラック協会研修センター会議室

講演者：専務理事

対 象：（一社）東京都トラック協会文京支部青年部

・日 時：平成28年11月9日（水）午前10時30分～

場 所：熊本県トラック協会研修センター会議室

講演者：専務理事

対 象：（一社）埼玉県トラック協会川越支部青年部

・日 時：平成28年11月21日（月）午後3時00分～

場 所：ネストホテル熊本

講演者：住永豊武会長、専務理事

対 象：（公社）沖縄県トラック協会役職員

・日 時：平成28年11月22日（火）午後4時30分～

場 所：熊本市内

講演者：住永豊武会長

対 象：福岡商工会議所役職員他

・日 時：平成28年11月30日（水）午前10時20分～

場 所：福岡市八仙閣

講演者：専務理事

対 象：九州運輸局、九州各県トラック協会適正化事業担当職員

・日 時：平成29年2月24日（金）午後2時30分～

場 所：パシフィックホテル沖縄

講演者：住永豊武会長、専務理事

対 象：（公社）沖縄県ト協トラック協会会員企業、行政機関他

なお、この熊本地震の対応を記録として、行政機関や各県トラック協会などに伝えるため、活動をまとめた震災記録誌を発行するための各種対応を行った。

② 平成28年12月26日（月）熊本県玉名郡南関町において発生した高病原性鳥インフルエンザに対し、当協会は熊本県からの緊急の資機材輸送要請を受け、輸送車両

の手配対応を行った。

平成28年12月26日（月）～平成29年1月20日（金）

会員企業延 30社 4トン車延30両

③ 自治体・行政機関等が行う防災訓練への参加

○熊本市（まなぼうさいは悪天候により当日中止）、熊本県、八代市については、熊本地震の影響により予定された訓練は、全て中止となった。

○水俣市主催

期日：平成28年11月6日（日）

場所：水俣市立総合体育館他 対応者：協会城南支部事務局及び会員企業

④ 国土交通省災害物流研修への参加

期日：平成28年10月18日（火）～21日（金）

場所：国土交通大学校柏研修センター

内容：国土交通省が主催する「災害物流研修」に協会長、専務理事が聴講するとともに、協会職員2名を参加させ、支援物資物流に関する専門知識の習得を図った。

参加者：42名 内訳 運輸局（6名）内閣府（1名）自治体（19名）

トラック協会（12名）、運送事業者及び倉庫業者（4名）

⑤ 高病原性鳥インフルエンザ等の協定に係る取組み

指定地方公共機関として特定家畜伝染病のまん延防止に協力するため、緊急物資輸送の取組みについて熊本県関係課と協定締結に向けた内容の協議を行った。

(4) 輸送の安全確保のための施策促進（健康診断料の助成）

ドライバーの長時間労働及び高齢化による脳、心臓疾患数が増加傾向にある中、定期健康診断の受診率の向上と有所見率の低下を目的に、会員事業所に勤務する全運転者を対象とした健康診断の受診に対し、助成を行った。

また、Gマーク取得のインセンティブとして、既取得事業所で夜間勤務に従事する運転者の2回目の受診料に対し、助成を行った。

○ 助成件数	348件	9,534名	17,563千円
内、定期健康診断	319件	7,736名	15,436千円
Gマークインセンティブ助成	74件	1,761名	1,761千円
突発性運転不能障害疾患検査助成	11件	37名	366千円

2. 重点項目

(1) トラックの日のイベント（サンクスマッチ）開催

トラック運送事業に対する一般消費者のより一層の理解促進等を目的としたイベントを開

催すにあたり、トラックの日検討委員会を立ち上げ、内容の検討を行い、次のとおり開催した。

今回も、昨年度実施した地元サッカーチーム「ロアッソ熊本」の公式戦（サンクスマッチ）に公益社団法人熊本県トラック協会の冠試合（スポンサー）としてジョイント（連携）し業界のPRを行った。また、ラッピングトラックやトラクタヘッドなどをスタジアム前広場に展示し、大型トラックの試乗体験や宣伝用ブースを出展し、業界の活動をPRした。また、来場者からの募金7,511円は、平成28年熊本地震義援金として、熊本県に対して寄付した。なお、来場者は、約4,350名となった。

日時：平成28年9月25日（日）13：15～18：00（16：00キックオフ）

場所：うまかな・よかなスタジアム

イベント協力：（36名）協会役員、青年部会継運会、支部職員、協会事務局

内容：主な実施内容（セレモニー含む）

【試合開始前】

- ① 大型トラック試乗体験（13:30～16:00）入場ゲート前広場
トラクタヘッド1台
- ② 宣伝用ブース出展（車両1台・テント3張）（13:30～試合終了）
 - ・トラック協会のパネルの展示、トラック男子、トラガールの紹介等
 - ・トラック業界に関するアンケートの実施
アンケート回答者にミニタオルの配布（ロアッソのエンブレム入り）
 - ・ロアッソ熊本の選手との写真撮影及びサイン会
- ③ 入場ゲートにてサンプリング（13：15～16：00）
 - ・マッチデープログラム（当日用パンフレット）と一緒にチラシ配布
- ④ 各種広告

【大型ビジョンによるCM放送】

- ・トラック協会15秒CMを計8回大型ビジョンで放映、またスカパー放送CMもあった。

【競技場内】（13:30～試合終了）

- ① のぼり旗30本、ポスター掲示（20枚）
- ② ラッピングトラック展示1台（白馬物流㈱10tウイング）

【FM791】（16:40頃）

永井委員長が出演し当日のサンクスマッチのイベント内容やトラック事業の社会的役割について紹介を行った。

【セレモニー】

- ① ロアッソ熊本の選手とハイタッチ（参加者：50名）
- ② 絆ファミリー・絆宣言（中川ファミリー5名）
- ③ エスコートキッズ（小学生22名）
- ④ フラッグベアラー（小学生6名）
- ⑤ 代表者挨拶（住永会長）

⑥ 始球式（永井委員長）

⑦ ハーフタイムにPRの場内一周 25名（約15分間）

【チケットの配布等】

招待券の配布（サービスチケット37枚及びS席デザインチケット200枚）

(2) 広報誌による情報提供

トラック運送事業に関する各種情報の提供や業界・協会の活動や取組みなどについて、適宜にお知らせするため、月刊広報誌「トラック広報くまもと」を発行し情報提供を行った。

(3) メディア及びホームページ等の活用

トラック運送事業に対する一般消費者のより一層の理解促進とトラックドライバーの活躍などを理解してもらい、業界参画へつなげるため、トラックドライバー・コンテストに優勝した会員ドライバーが出演した協会のテレビCMを作成し、民放各テレビにて放送した。また、運輸・物流産業企業合同説明会の周知を行い、求職者に対して、PRするため各種媒体を活用し、広報を行った。

各種媒体の活用（一部に運輸・物流産業企業合同説明会の広報を含む）

【テレビ】

○KAB

・公益社団法人熊本県トラック協会テレビCM放送

平成29年1月23日（月）～平成29年3月10日（金）まで（48本放送）

・平成29年3月29日（水）「報道くまパワNEWS」

○KKT

・公益社団法人熊本県トラック協会テレビCM放送

平成29年1月27日（金）～平成29年3月4日（土）まで（7本放送）

・（事務局出演 運輸・物流産業企業合同説明会告知）

・運輸・物流産業企業合同説明会周知CM計23本放送）

平成29年2月24日（金）～平成29年3月10日（金）まで

○TKU

・公益社団法人熊本県トラック協会テレビCM放送

平成29年1月27日（金）～平成29年2月28日（火）まで（10本放送）

・飲酒運転根絶・高齢者の交通安全啓発キャンペーンCM（計36本放送）

平成28年12月10日（土）～平成29年1月20日（金）まで

○RKK

・公益社団法人熊本県トラック協会テレビCM放送

平成29年1月27日（金）～平成29年3月10日（金）まで（30本放送）

・（青年部会継運会、事務局出演 運輸・物流産業企業合同説明会告知）

平成29年2月28日（火）「ウエルカム」番組内告知対応

【ラジオ】

○RKK

- ・(住永会長出演)「とんでるワイド大田黒浩一のきょうも元気」
平成28年11月8日(火) 午前11時30分
- ・学生の登下校時間帯における事故防止啓発広報CM(45本放送)
平成28年5月16日(月)～平成28年7月15日(金)まで
- ・運輸・物流産業企業合同説明会周知CM(100本放送)
平成29年2月24日(金)～平成29年3月10日(金)まで

○FMK

- ・スマイルドライブキャンペーン(41本)
 - ・平成28年8月31日(水)～平成29年2月9日(木)まで
- ・歩行者横断用横断旗寄贈(50本)

○熊本シティFM

- ・FM791防災コミュニティパートナー(120本)
平成28年6月1日(水)～平成29年3月11日(土)まで

【新聞・雑誌等】

○熊本日日新聞

- ・平成28年 6月25日(土) 掲載 熊本県からの復興メッセージ
- ・平成28年11月18日(金) 掲載 県政特集号 カラー半五段
- ・平成29年 2月26日(日) 掲載 運輸・物流産業企業合同説明会開催
- ・平成29年 3月5日(日) 掲載 運輸・物流産業企業合同説明会開催

○読売新聞

- ・平成28年11月30日(水) 掲載 Gマーク周知広告

○物流ニッポン

- ・平成28年7月18日(月) 掲載 暑中特集号
- ・平成28年10月6日(木) 掲載 第21回全国トラック運送事業者大会特集
- ・平成29年3月20日(月) 掲載 2017安全&環境特集

○輸送経済新聞

- ・平成28年7月16日(土) 掲載 夏季・環境特集
- ・平成28年10月4日(火) 掲載 第21回全国トラック運送事業者大会特集
- ・平成29年2月28日(火) 掲載 中四国・九州ブロック特集

○くまもと経済

- ・平成28年11月号掲載 ピックアップ広告カラー1/2ページ+記事体広告

○週刊求人案内 熊本版

- ・平成29年2月10日号、2月17日号、2月24日号、3月3日号、
3月10日号に掲載 運輸・物流産業企業合同説明会開催

○週刊ゲットサポート 熊本版

- ・平成29年2月14日号、2月21日号、2月28日号、3月7日号掲載

運輸・物流産業企業合同説明会開催

(4) 各種表彰関係

① 永年継続企業表彰

永年継続企業表彰制度の表彰を次のとおり行った。

被表彰会員企業 4社

② 無事故チャレンジ運動表彰

協会長表彰事業所 98事業所

③ 国土交通大臣表彰

被表彰者 藤木 徳昭氏 (株)藤木運送 代表取締役

④ 九州運輸局長表彰

(ア) 団体役員表彰

被表彰者 荒川 泰治氏 (九州産交運輸株) 代表取締役社長)

〃 成松 唯幸氏 (有)田島運送 代表取締役会長)

(イ) 事業役員表彰

被表彰者 住永 豊武氏 (熊本交通運輸株) 代表取締役会長)

〃 於久 初治氏 (熊本旭運輸株) 代表取締役)

〃 吉川 誠氏 (熊交エクスプレス株) 代表取締役)

(ウ) 従業員部門表彰

被表彰者 森 昇氏 (熊本交通運輸株)

〃 杉本 幸久氏 (〃)

〃 宮本 廣幸氏 (〃)

〃 海野 英昭氏 (熊交エクスプレス株)

⑤ 九州運輸局自動車運送事業者無事故表彰

(ア) 第1回被表彰事業者 (1社) (有)小嶋運送

(イ) 第2回被表彰事業者 (1社) (有)ミナト運輸

⑥ 熊本地震に係る感謝状関係

(ア) 農林水産大臣感謝状

対象団体：公益社団法人熊本県トラック協会

日 時：平成28年8月24日(水) 午前11時30分

場 所：公益社団法人熊本県トラック協会研修センター

(イ) -①九州運輸局長感謝状

対象団体：公益社団法人熊本県トラック協会

日 時：平成28年11月24日(木) 午後2時00分～

場 所：九州運輸局

(イ) -②対象事業者：次の10社

九州産交運輸(株)、熊本交通運輸(株)、(株)AZUMA、熊本丸善海陸運輸(株)、
(株)マツカワ物流、(株)内田陸運、長浜運輸(株)、熊本通運(株)、(株)永井運送、
(株)ミノル運送(順不同)

日 時：平成29年2月20日(月)午後2時00分～

場 所：ホテル熊本テルサ

(ウ) 熊本県知事感謝状

対象団体：公益社団法人熊本県トラック協会

日 時：平成28年11月16日(水)午後1時00分

場 所：ホテル熊本テルサ

(5) その他

新春賀詞交歓会の開催

会員企業、荷主企業、来賓らが参集して新春賀詞交歓会を次のとおり開催した。

また、会の冒頭には、藤木徳昭理事の国土交通大臣表彰受賞記念品授与式を行った。

日時：平成29年1月27日(金)午後6時00分～午後8時00分

場所：熊本ホテルキャッスル 2階 キャッスルホール

参加者数：150名

(6) 協会基幹システムの活用方策及び他県トラック協会との連携

協会の業務の効率化及び会員サービスにつなげるため、コンサルタントを招へいし、基幹システムの改編を行った。また、併せて協会業務についても効率化を図るため、検討を行った。また、南九州5県トラック協会職員会議や各種講習会等に参加し、職員の資質向上や業務の効率化のための対応を図った。

3. 全ト協と連携して行う項目

(1) 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現

① 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現

要望活動については、麻生太郎副総理・財務大臣、細田博之自民党トラック輸送振興議員連盟会長、中根一幸自民党国土交通部会長をはじめ、政府与党の国会議員に対し、日本自動車会議所など関係団体と協調して積極的に陳情活動を展開した。

平成29年度税制改正大綱については、平成28年12月22日に閣議決定され、税制改正関連法案は平成29年3月27日に国会で成立した。トラック運送業界に関係する主な内容は以下のとおり

・ 中小企業投資促進税制について、車両総重量3.5t以上のトラックについては、適

用期限が2年延長。

- ・自動車重量税・自動車取得税のエコカー減税については、一部軽減率等を見直した上で、適用期限が2年延長。
- ・自動車取得税のASV（先進安全自動車）特例措置、自動車税のグリーン化特例措置については、適用期限が2年延長。
- ・自動車税の引下げについては、平成31年度税制改正までに、安定的な財源を確保し、地方財政に影響を与えないよう配慮しつつ、自動車の保有に係る税負担の軽減に関し総合的な検討を行い、必要な措置を講ずるとされた。
- ・自動車税の営自格差の見直しについては、阻止することができた。

② 軽油引取税の旧暫定税率の廃止等税負担の軽減

なお、軽油引取税の旧暫定税率の廃止については、地球温暖化対策の観点、国・地方が苦しい財政状況にあることから、要望は受け入れられなかった。

(2) 高速道路通行料金の引下げ及び割引制度の充実

① 高速道路料金の引き下げ及び割引制度の充実

高速道路料金に関する要望については、特に、大口・多頻度割引最大割引率50%の継続についても上記の大臣らをはじめ、政府与党の国会議員に対し強力に要望活動を展開し、結果として平成28年10月11日に成立した平成28年度第2次補正予算において105億円が措置され、ETC2.0搭載車を対象に、大口・多頻度割引の最大割引率50%が平成29年度末まで継続されることとなった。

近畿圏の高速道路料金については、平成29年度からの見直しに向けて検討が進められ、第22回社会資本整備審議会道路分科会国土幹線道路部会（平成28年4月7日）におけるヒアリングに対して、大口・多頻度割引の継続・拡充など近畿圏の新たな高速道路料金及び大阪湾岸道路西伸部や淀川左岸線延伸部など近畿圏の道路ネットワークの整備について要望した。また、平成28年12月12日に、全ト協と近畿トラック協会の連名で、道路ネットワークの早期整備、シンプルで継ぎ目のない料金体系、大口・多頻度割引の継続・拡充、環境ロードプライシングの継続・拡充を内容とする要望書を、石川雄一国土交通省道路局長に提出した。

その後、近畿圏の新たな高速道路料金に関して、平成28年12月16日に具体方針が、12月26日に具体案が発表されたが、大口・多頻度割引の継続・拡充や環境ロードプライシングの継続など要望内容が反映された内容となった。

また、平成28年9月29日に、高速道路6会社が車両制限令違反者に対する大口・多頻度割引停止措置等の見直しについて発表があったことから、平成28年11月29日に、全ト協と日貨協連の連名で、荷主の責任強化、トラック運送事業者及び荷主に対する周知徹底、自動軸重計による計測結果の取り扱い、国際海上コンテナ輸送車両及び特例8車種のトレーラへの対応、累積期間拡大への対応を内容とする要望書を、石川雄一国土交通省道路局長に提出した。

② ETC 2.0の普及促進

国における平成27年度補正予算により、ETC 2.0搭載車を対象に、高速道路料金の大口・多頻度割引最大50%が継続されることとなり、今後もより一層の輸送効率化が図られることから、ETC 2.0の普及促進を図るため、20億円規模（1台4千円×50万台）のETC 2.0車載器購入促進助成事業を都道府県トラック協会との協力で実施した。（熊本県は実績423台 12,510千円）

(3) 大規模災害発生時における緊急輸送体制の確立

全ト協においては、災害対策基本法に基づき防災業務計画を策定するとともに、緊急時における業務マニュアルの整備を進め、緊急物資輸送体制の整備を行った。また、熊本地震発生時には、国及び指定公共機関等との連携を図り、政府から要請された緊急支援物資輸送にかかる車両の手配や被害情報の収集などを行った。

その他、各都道府県トラック協会におけるテレビ会議システム導入に対し助成を行い、導入促進を図るとともに、同システムを活用した会議や研修が実施された。

政府主催の津波防災の日情報伝達訓練や首都直下地震等に対応した災害支援物資輸送訓練に参加し、政府や指定公共機関間との情報伝達訓練を実施した。

緊急輸送車両の燃料供給を確保するためトラック運送事業者に対し自家用スタンド設置助成を行い、ネットワーク整備を図った。

(4) 全ト協会長表彰

・正しい運転明るい輸送運動表彰

日通熊本トラック(株) (熊本南支部)、大八運送(有) (熊本東支部)、(株)出水電設
(人吉・球磨支部)

・全ト協表彰規程による表彰

団体役員	2名 (岩下哲三理事、岩本東造理事)
従業員	13名
協会職員	1名

・優秀運転者顕章 (平成28年度より銅十字章は廃止となった)

金十字章	45名
銀十字章	75名
合計	120名

(5) 全日本トラック協会が主催する第21回全国トラック運送事業者大会に協会役員及び事務局ら10名が参加した。

期 日：平成28年10月6日 (木)

場 所：鳥取県米子市 米子コンベンションセンター

〔交通・環境対策委員会〕

1. 最重点項目

(1) 交通事故防止対策の推進

① 事故防止大会の実施

年末の輸送繁忙期に向けて、事業用トラックによる交通死亡事故や、トラックから転落する等の労災事故が増加していることから、業界全体で一丸となった事故防止対策の推進を目的に、第36回熊本県トラックドライバー・コンテストの総合優勝者（南九州センコー(株)八代営業所中村将太氏）による安全宣言を行い、その後、「トラック交差点事故防止マニュアル」を活用したセミナーを実施した。

日 時：平成28年10月4日（火）13時30分～17時00分

場 所：(公社)熊本県トラック協会 研修センター

参加者：45社56名

セミナー：「トラック交差点事故防止マニュアル」活用セミナー

講師：東京海上日動リスクコンサルティング(株)

経営企画部主席研究員 奥田啓介氏

② 大型車・特車通行許可制度等及びETC2.0を活用した賢い物流管理講習会の実施

特殊車両通行許可制度に係る関係法令及び車両制限令、ETC2.0を活用した特車ゴールの概要に関する講習を実施し、ETC2.0を活用した車両運行管理支援による輸送の効率化及び交通事故防止対策を図った。

日 時：平成28年5月17日（火）13時30分～16時30分

場 所：(公社)熊本県トラック協会 研修センター

参加者：48社63名

講師：(公社)全日本トラック協会輸送事業部課長 谷 博司氏

③ 事故防止用品の作成

新入学児童に対する交通事故防止用品を各地域振興局単位の教育事務所を通じて、当該地域の支部長より、教育事務所長宛てに、新入学児童の交通事故防止を目的として、平成29年2月から3月にかけて、蓄光反射材キーホルダー及びA4サイズクリアファイルのセット（19,000セット）を寄贈した。

また、事業者やトラックドライバーに対する交通事故防止の啓発を図るため、交通渋滞予想地域及び熊本県交通安全川柳標語入りカレンダーを

1,500部作成し、全会員事業者に配布した。

④ 無事故チャレンジ運動の実施

平成28年10月1日（土）～平成29年1月8日（日）までの100日間、社会との共生を図りながら、公共の道路を活用し、公共輸送の使命を担うトラック運送業界においては、交通事故防止対策は最重要課題の1つであることから、年末年始の輸送繁忙期の交通量が増加する時期に、関係行政機関と連携し、交通事故ゼロを目指し、交通事故防止対策を推進した。

また、参加145事業所から、表彰基準を満たした98事業所を協会長表彰として表彰した。

⑤ 法令遵守事故防止セミナーの実施

「準中型免許」の新設に係る改正道路交通法に伴い、トラック運送事業者における運転者への教育内容強化を主眼とした「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」の一部改正が同日付で改正されたため、法令遵守を目的に、運転者に対する指導教育の内容変更の周知及び指導教育の際のポイントに関するセミナーを実施した。

日 時：平成29年3月10日（金）13時30分～15時30分

場 所：(公社) 熊本県トラック協会 旧館研修センター

参加者：65社76名

題 目：「準中型免許制度及び交通事故防止対策について」

講 師：熊本県警察本部交通企画課係長 三次 和昭氏

題 目：「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」の一部改正に伴う運転者に対する指導教育の内容変更及び教育の際のポイント等について

講 師：(有)八代ドライビングスクール 福田 秀一氏

⑥ 事業用貨物自動車の業務中における交通事故発生状況（平成28年中）

《熊本県警察本部資料》

	発生件数	死者数	負傷者数
大型貨物	61 (△18)	3 (±0)	83 (△23)
中型貨物	65 (+9)	3 (±0)	86 (+19)
普通貨物	15 (△1)	1 (±0)	17 (△6)
合 計	141 (△10)	7 (±0)	186 (△10)

() 内は、前年対比

【目 標】

○発生件数 145件以下

○死者数 0人

○負傷者数 185人以下

※目標に対し、発生件数は若干下回ったが、死者数及び負傷者数は目標を上回る結果となった。

(2) 安全教育の普及促進

① ドライバー等安全教育訓練助成事業の周知

全ト協が助成するトラックドライバー及び安全運転管理者等を対象とした安全運転研修所における安全教育訓練について、広報誌及びホームページ等で普及促進を図った。

(9社16名参加)

② 省燃費等安全運転研修会の実施

安全及び事故防止に関する知識及び省燃費運転による運転技能向上等を目的にドライバー等を対象とした研修会を、福岡県おんが自動車学校、大矢野自動車学校において次のとおり開催した。

・福岡県おんが自動車学校

開催期間及び参加人員 (1泊2日コース)

平成28年6月4日(土)～5日(日) (9社15名参加)

・大矢野自動車学校

開催期間及び参加人員 (1日コース)

平成28年5月15日(日)、22日(日)

平成28年6月 5日(日)、12日(日)

平成28年7月 3日(日)、10月8日(日)計6回 (31社84名参加)

合計 40社99名参加

③ 交通事故統計の情報提供

交通事故防止の意識向上及び安全運転の啓発並びに運転者に対する指導・監督の際の資料に活用できるよう事業用トラックの交通事故統計(熊本県警察資料)を「トラック広報くまもと」に掲載した。

④ 各季における交通安全運動の実施

トラック輸送の安全確保と安心・安全で信頼できる輸送体制の確立を図るため、各季交通安全キャンペーンを推進し、各交通安全運動への積極的な参加を周知徹底するため、交通安全懸垂幕の掲示、トラック広報くまもとへの記事掲載を行った。

○ 春の全国交通安全運動

平成28年 4月 6日(水)～4月15日(金)

○ 秋の全国交通安全運動

平成28年 9月21日(水)～9月30日(金)

- 正しい運転・明るい輸送運動
平成28年11月16日（水）～平成29年1月10日（火）
- 年末年始の輸送等安全総点検
平成28年12月10日（土）～平成29年1月10日（火）
- 年末年始の交通事故防止運動
平成28年12月21日（水）～平成29年1月 3日（火）

2. 重点項目

(1) 第36回熊本県トラックドライバー・コンテストの実施

運転技能と関係法令及び車両構造等に係る専門的な知識を競い、他の模範となることで、社会的責務を担うトラックドライバーとしての自覚と誇りを醸成し、交通事故防止の推進と環境負荷の低減に寄与することを目的に実施した。

また、今年度は、熊本地震の影響を考慮し、学科競技のみ実施した。

なお、第1部（全国大会選抜競技）及び第2部（県大会チャレンジ競技）の2部構成とし、第2部にダンプ部門を新設した。

開催日：平成28年7月23日（土）

場 所：八代ドライビングスクール

参加者：23事業所28名

第1部

4トン部門 11名、11トン部門 7名、トレーラ部門 5名、女性部門 2名

第2部

11トン部門 1名、ダンプ部門 2名

【部門別優勝者】

部 門 別	所 属	選 手 名
4 ト ン	九州産交運輸(株)熊本特輸センター	八浪 敏次
1 1 ト ン	南九州センコー(株)八代営業所	中村 将太
ト レ ー ラ	九州産交運輸(株)熊本コンテナセンター	平山慎太郎
女 性	日本郵便輸送(株)熊本営業所	松永 寿代

(敬称略)

県大会の各部門の優勝者（トレーラ部門は4トン部門の優勝者と同一事業者となったため、要綱により第二位の日本通運(株)熊本支店通運営業所の徳永龍選手）は、平成28年10月22日（土）～24日（月）、自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）において開催された全国大会に出場した。（各部門の入賞者はなかった。）

(2) 環境クリーンキャンペーンの実施

「トラックの日」の関連事業として、10月を「環境月間」と定め、10月15日(土)を「実施統一の日」として、各支部の会員事業所のドライバーやその家族、地元地域の小中学生、協会役員等により、10月13日(木)～10月29日(土)にかけて、日頃利用している道路に感謝を込めて、幹線道路やその周辺地域において清掃活動が行われた。(12支部739名参加)。

(3) 「トラックの森」づくり育林事業

トラック運送業界の環境対策の取り組みを目的に、平成26年1月に旧弓ヶ浜跡地(上天草市大矢野町)にサクラ、モミジ、ツツジ等の植樹後に繁茂した草の除草刈りを「トラックの日」の関連事業育林事業の育林事業として、8月30日(火)に実施した。

(4) 各種助成事業

交付金等助成事業の活用を促進するため、熊本県トラック協会の助成事業の目的、申請方法等の説明会を実施した。

日 時：平成28年6月22日(水) 10時30分～12時00分

場 所：(公社)熊本県トラック協会 研修センター

参加者：35社44名

- | | | | |
|-------------------------------------|-------|--------|----------|
| ① ドライブレコーダー機器導入促進助成 | 83社 | 423台 | 12,510千円 |
| ② ASV装置導入促進助成 | 59社 | 94台 | 2,820千円 |
| ③ 安全装置等導入促進助成 | 71社 | 124台 | 2,480千円 |
| ④ アルコール検知器助成 | 36社 | 105台 | 1,484千円 |
| ⑤ 低公害車導入促進助成
(新長期車、CNG車、ハイブリッド車) | 117社 | 204台 | 12,840千円 |
| ⑥ グリーン経営認証取得助成 | 22事業所 | | 946千円 |
| ⑦ ETC2.0車載器購入促進助成 | 216社 | 3,584台 | 17,920千円 |
| ⑧ ポスト新長期車両に対する融資推薦 | | | |

環境対策を推薦するためポスト新長期規制適合車導入促進に係る融資の推薦を行うとともに、その利子の補給を行った。(推薦件数29件)

(5) アドバイザー制度の導入

会員の経営に資するため法律・経営・労務に関する専門のアドバイザーに業務を委託して、会員からの要望に対応するため、相談窓口を設置し、アドバイザーの増員を図った。

○法律アドバイザー・・・北里敏明氏(弁護士)、江越和信氏(弁護士)
河津 和明氏(顧問弁護士)

○経営・労務アドバイザー・株近代経営研究所
株瀧澤・佐藤事務所 瀧澤 学氏
株プロデキューブ 高柳 勝二氏

(6) 事故防止製品展示会の開催について

各メーカーの事故防止製品を一度に見て比較することで、各事業者に合う機器導入の参考・支援を行い、交通事故防止の促進を図った。

日 時：平成28年6月22日（水）10時00分～16時00分

場 所：熊本県トラック協会 旧館研修センター

来 場 者：30名

出展業者：10社

E T C 2. 0 車載器メーカー、ドライブレコーダー機器メーカー、
アルコール検知器メーカー、バックモニター機器メーカー

3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 事業用トラックによる交通事故実態の把握と要因分析

事業用トラックを第一当事者とする死亡事故件数を車両台数一万台当たり「2.0」以下とし、都道府県別（車籍別）の共通目標とし、事故防止の推進を図った。

〔適正化事業委員会〕

1 最重点項目

(1) 巡回指導における効率的な推進

① 全国実施機関が示した「事業活動指針」に基づき、新規事業者や悪質事業者及び霊柩運送事業者等を考慮し優先度に応じて巡回指導を行うなど、事業者の評価が厳正・公平に行われるよう効果的な推進を図った。

なお、4月、5月における巡回指導については、熊本地震のため事業者の被災状況などに応じて巡回指導を延期した。

② 特別巡回指導の早期実施及び改善指導の強化

熊本運輸支局の指導要請による乗務時間に特化した特別巡回指導については、事業者に的確なアドバイスや相談を行うなど、早急に改善ができるよう指導を行った。

【巡回指導実績表】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
実績数	5	19	29	20	25	30	27	24	28	25	37	27	296	
内訳	既存	5	18 (1)	28 (2)	19 (1)	25 (2)	29 (1)	26 (1)	22 (2)	23 (1)	24 (2)	15 (1)	24 (0)	258 (14)
	新規	0	1	1	1	0	1	1	2	5	1	22 (20)	3	38 (20)

※ 表中、既存の（ ）は特別巡回指導を、新規の（ ）は霊柩事業所の集合指導を内数で示す。

(2) 安全性評価事業（Gマーク）取得事業者の拡大

① 安全性優良事業所数及び認定率

平成28年度の安全性評価事業へ、105事業所から申請があり、新規17事業所、初回更新19事業所、2回目更新15事業所、3回更新15事業所、4回目更新23事業所の合計89事業所が認定を受けた。

なお、熊本地震により更新が1年間の延期となる特例措置を14事業所が申請した。このため、既存の認定事業所214事業所を含めると、熊本県内の認定事業所は、303事業所となった（認定率は県内事業所数の27.5%）

② 安全性優良事業所の拡大及び認定取得率向上

巡回指導時に実施した総合評価の良かった事業所に評価事業の申請をするよう説明するほか次の説明会などを開催し、取得事業所の拡大及び認定取得率の向上を図った。

- ・平成28年7月5日（火） 安全性優良事業説明会
- ・平成28年8月1日（月） 安全性評価事業作成要領説明会
- ・平成28年8月23日（火）～29日（月） 申請書類の事前確認
- ・平成29年2月18日（土） 安全性評価事業説明会（阿蘇支部）
- ・平成29年3月22日（水） 安全性評価事業説明会（天草支部）

③ 安全性優良事業所表彰

安全性優良事業所の認定を連続して10年以上受けており、表彰要件に該当する事業所に対して、九州運輸局長表彰及び熊本運輸支局長表彰が受賞された。

【年度別表彰事業所数】

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合 計
九州運輸局長表彰	0	0	1	1
熊本運輸支局長表彰	1	14	4	19

- ・平成28年11月16日（水）九州運輸局長表彰
- ・平成28年11月17日（木）熊本運輸支局長表彰

(3) 熊本県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会の開催

平成28年度事業計画、巡回指導結果、委員会提言への対応、新規参入時の事前チェックの強化等について報告を行った。

委員からは、巡回指導時に社会保険未加入事業者の通報後の結果を運輸支局から実施機関への報告及び特別巡回指導後、改善が見られない事業者については、運輸支局から監査までの間に通知文書等を発出するなど、差別化をして頂きたい等の提言がなされた。

- ・平成28年度第1回 平成28年5月23日（月） 県ト協
- ・平成28年度第2回 平成29年3月7日（火） 県ト協

2 重点項目

(1) 運行管理者試験対策

運行管理者試験受験者の合格率向上を図るため、試験対策に向けて専門の講師を招き、運行管理者事前講習会及び運行管理者試験対策勉強会を開催した。

【運行管理者試験事前講習会】講師：平塚 捷悦 氏

- ① 開催日時：平成28年7月30日（土）～31日（日）（受講者96名）
開催場所：熊本県トラック協会 旧館2階会議室
- ② 開催日時：平成29年2月20日（月）～21日（火）（受講者74名）
開催場所：ユースピア熊本（熊本県青年会館）

【運行管理者試験対策勉強会】講師：嘉村 公成 氏

- ① 開催日時：平成28年8月22日(月) (受講者114名)
開催場所：八代ハーモニーホール
- ② 開催日時：平成29年2月11日(土) (受講者84名)
開催場所：熊本県トラック協会 旧館2階会議室
- ③ 開催日時：平成29年3月2日(木) (受講者87名)
開催場所：ユースピア熊本 (熊本県青年会館)

【運行管理者試験結果】

区 分	試験実施日	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第1回	8月28日	392	357	110	30.8% (全国15位)
第2回	3月5日	379	342	77	22.5% (全国13位)
合 計		771	699	187	

(2) 運行管理者一般講習及び整備管理者研修の受講料助成

会員事業者の安定した事業運営及び運行管理等に資するため、運行管理者及び整備管理者の選任者に対し、2年に1回の受講義務のある講習等の受講料の助成を行った。

また、運行管理者一般講習の助成制度の要綱を一部改正し、国土交通省より認定を受けた民間企業等の実施機関が実施する講習を追加し、会員の受講率の向上を図った。

(3) 過積載防止対策

「過積載絶滅運動月間（10月1日～30日）」には、関係行政機関との連携を図りながら、次の対策を実施した。

① 街頭キャンペーン及び取締り参加（2回）

運転者に運動のチラシ等を配布して啓発活動を行った。

- ・平成28年10月3日(月) 熊本河川国道事務所 八代維持出張所
- ・平成28年10月6日(木) 八代インターチェンジ

【過積載運行に対する行政処分件数（車両の使用停止）】

区 分	平成26年	平成27年	平成28年
九州運輸局管内	21	6	3
熊本運輸支局管内	2	0	0

- ② ポスターを作成して事業者や荷主企業及び関係業界等に1,200枚配布し、過積載防止に対する理解と協力を求めるため周知を図った。

(4) 苦情処理への適正・迅速な対応

一般消費者等からの運転マナーやドライバー等からの長時間労働などの苦情、相談に対して、適正・迅速に対応し解決に努めた。特に、運転マナーについては、事業所などの運行管理者へ乗務員教育の徹底を指導した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運転マナー	2	7	2	4	1	0	1	4	1	3	0	4	29
労働関係	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	1	6
その他	2	4	0	0	0	0	0	3	1	1	0	1	12
合計	4	11	2	4	2	0	1	10	3	4	0	6	47

(5) 可搬式適性診断機器の利用促進

本部や各支部に配置している自社の事務所内などで受診可能な可搬式適性診断機器を貸出し、事業者の運転者に対する指導・監督および事故防止対策の促進を図った。

【貸出状況】

区 分	上半期（4月～9月）	下半期（10月～3月）	全期（4月～3月）
平成28年度	62事業者 1,679名	50事業者 1,195名	112事業者 2,874名
平成27年度	100事業者 2,024名	67事業者 1,089名	167事業者 3,113名

(6) 社会保険等未加入事業者への対応

社会保険等未加入事業者については、巡回指導後の改善報告書により改善がなされていない事業者は、熊本運輸支局長に定期報告を順次行った。（10回 合計26事業所）

(7) 安全対策の励行に対する啓発

事業者の運行管理における安全対策を励行するため、「トラック広報くまもと」へ関連記事の掲載や「適正化事業課だより」（緊急通知）などの文書を発出し、会員事業者に対する啓発活動を実施した。（不定期）

(8) 運輸安全マネジメントの普及促進

事故防止に対する安全性の向上を図ることを目的に、巡回指導や安全性評価事業の申請・説明会などを通じて、運輸安全マネジメントの普及促進に努めた。

(9) 白トラ行為等対策

白トラ行為等についての通報や最近の巡回指導時における名義貸し、違法な白トラ行為等は確認されなかった。

3 全ト協と連携して行う項目

(1) 適正化事業指導員の能力向上

全国実施機関が主催する適正化事業指導員の各種研修やブロック研修会などに参加し、指導員の適否の判断基準の統一化や、適正化事業指導員のスキルアップに努めた。

- ① 適正化事業指導員全国研修(初級研修)
 - ・平成28年4月26日(火)～27日(水)
- ② 適正化事業指導員全国研修(情報処理システム研修)
 - ・平成28年4月28日(木)
- ③ 小規模グループ適正化事業指導員研修
 - ・平成28年8月18日(木)～19日(金)
- ④ 適正化事業指導員全国研修(専門研修)
 - ・平成28年9月1日(木)～2日(金)
- ⑤ 適正化事業指導員全国研修(特別研修)
 - ・平成28年11月17日(木)～18日(金)
- ⑥ 九州・沖縄ブロック適正化事業指導員研修会
 - ・平成28年11月29日(火)～30日(水)
- ⑦ 適正化事業指導員全国研修(スキルアップ研修)
 - ・平成29年2月2日(木)～3日(金)

(2) 引越講習会及び引越事業者優良認定制度の推進

利用者サービスのレベルアップを図るため、引越輸送業務の実務担当者や管理者等に対して、全ト協専任講師による各種引越講習を開催した。

また、全ト協開催の輸送相談業務担当者等のTV会議に参加し、会員事業者の引越講習や引越事業者優良認定制度の事務手続きの効率化を図った。

- ① 引越基本講習
 - ・日 時：平成29年1月19日(木) 10:00～16:00
 - ・場 所：熊本県トラック協会 研修センター3階
 - ・参加者：12名
- ② 引越管理者講習
 - ・日 時：平成29年1月20日(金) 10:00～16:00
 - ・場 所：熊本県トラック協会 研修センター3階
 - ・参加者：16名

③ 引越事業者優良認定制度

消費者に安全・安心な引越サービスを提供する事業者の情報を提供し、品質の向上を図るため引越事業者等を客観的に評価する「引越事業者優良認定制度(平成26年度創設)」の推進を図った。

※平成28年度 引越事業者優良認定制度に係る認定状況

区 分	熊本県	全 国
平成28年度	1事業者 (1事業所)	25事業者 (122事業所)
既 認 定	15事業者 (26事業所)	351事業者 (1,842事業所)
合 計	16事業者 (27事業所)	376事業者 (1,964事業所)

〔労働対策委員会〕

1. 最重点項目

(1) 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善熊本地方協議会」の適確な運営と実現可能な対策等の検討

熊本運輸支局及び熊本労働局と共同で、学識経験者、荷主企業、運送業者、関係団体等で構成される協議会で、運送業界の取引環境と労働時間の改善を図ることを目的として、次の会議を行った。

【熊本県地方協議会】

○第4回熊本県地方協議会

開催日時：平成28年10月24日（月）13時30分～16時00分

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター3階会議室

議 題：「トラック運送業の生産性向上・労働条件改善に向けた取組みについて」
「熊本県地方協議会におけるパイロット事業について」

○第5回熊本県地方協議会

開催日時：平成29年3月16日（木）13時30分～16時00分

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター3階会議室

議 題：「地方協議会におけるパイロット事業の実証実験結果について」

【パイロット事業関係】

○パイロット事業意見交換会

開催日時：平成28年7月25日（月）10時00分～

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター2階会議室

議 題：パイロット事業の参画事業者について

○第1回パイロット事業検討会

開催日時：平成28年10月20日（木）10時00分～

開催場所：JA経済連第二集送センター会議室

議 題：パイロット事業の取組みについて

○パイロット事業事前検討会

開催日時：平成29年1月16日（月）13時00分～

開催場所：JA経済連3階会議室

議 題：パイロット事業の実施について

○第2回パイロット事業検討会

開催日時：平成29年2月16日（月）14時00分～

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター2階会議室

議 題：パイロット事業の実施状況について

○第3回パイロット事業検討会

開催日時：平成29年3月9日（木）13時30分～

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター2階会議室

議 題：パイロット事業の実施結果について

(2) 労働力確保対策の推進及び労務管理講習会の開催

① 運輸・物流産業企業合同説明会の開催

開催日時：平成29年3月11日（土）13時00分～16時00分

開催場所：ウイング松橋（宇城市松橋町大野85）

出展企業：27社

後 援：熊本労働局、熊本運輸支局、熊本県

② 人材確保セミナー

労働力確保対策の一環として開催する運輸・物流産業企業合同説明会の出展 企業等
に対して、求職者からの視点による企業の採用力向上を目指し、次の内容のセミナーを
開催した。

開催日時：平成29年2月7日（火）13時30分～17時00分

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター3階会議室

講 演：「トラック運送業界における人材確保について」

「トラックドライバーの採用・育成対策（若年、女性、高齢者等）について」

「人材活用による生産性向上について」

講 師：株コヤマ経営 代表取締役 小山 雅敬 氏

参 加 者：49名

また、併せて3月11日（土）開催の運輸・物流産業企業合同説明会の参加企
業に対して、ブース出展要領についての説明を行った。

講 師：株あつまるホールディングス 支店長 島津 繁寿 氏

課長補佐 古池 泰士 氏

③ 労働セミナー

労働力確保及び労務管理の改善を図るためのセミナーを開催し、各支部においては経
営改善、基盤強化等のために労務管理講習会を開催した。

開催日時：平成28年10月21日（金）13時30分～16時00分

開催場所：熊本県トラック協会 旧館2階会議室

講 演：「労働力確保対策と従業員定着（採用力向上）のための社内コミュニティの
構築について」

講 師：株松本経営事務所 代表取締役 松本 一喜 氏

参 加 者：64名

(3) 大型・中型免許取得助成

運送事業における若年層の運転者を確保することを目的に、熊ト協に所属する会員事業者の運転者及び免許取得後に会員事業者に入社する一般の運転者を対象に、「大型免許」及び「中型免許（中型限定解除を含む）」を取得した際に要した費用（教習所等へ支払った教習料のみを対象とし、運転免許試験場における検定試験受験料は対象外）を助成し、労働力の確保に努めた。

助成件数	11,557千円
(内訳) 大型110名	10,757千円、中型 16名 800千円

(4) 健康診断料の助成

ドライバーの長時間労働及び高齢化による脳、心臓疾患数が増加傾向にある中、定期健康診断の受診率の向上と有所見率の低下を目的に、会員事業所に勤務する全運転者を対象とした健康診断の受診に対し、助成を行った。

また、Gマーク取得のインセンティブとして、既取得事業所で夜間勤務に従事する運転者の2回目の受診料に対し、助成を行った。

○助成件数	348件	9,534名	17,563千円
内、定期健康診断	319件	7,736名	15,436千円
Gマークインセンティブ助成	74件	1,761名	1,761千円
突発性運転不能障害疾患検査助成	11件	37名	366千円

2. 重点項目

(1) インフルエンザ予防対策

新型インフルエンザ等に対する業界内外へのまん延予防対策として、希望のあった会員事業者に対して手指消毒液の配布を行った。

ポンプ式手指消毒液	369事業者	計	548本配布	678千円
-----------	--------	---	--------	-------

(2) 交通労働災害の防止

陸災防熊本県支部と連携し、夏期及び年末年始交通労働災害防止運動の周知と防止に努めた。

3. 全ト協と連携して行う項目

(1) トラックドライバーの長時間労働の改善対策

トラックドライバーの長時間労働の改善に向けた取組の一環として、「改善基準告示」「荷主勧告制度」に関するリーフレットを主要荷主団体あてに、熊本労働局及び熊本運輸支局と連名で配布した。

(2) 健康状態に起因する事故防止対策

熊ト協の「トラック広報くまもと」及びホームページを通じて、睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策の周知を図り、スクリーニング検査費用の助成を行った。（10社98名）

(3) 少子高齢化に対応した労働力の確保対策の推進及び事業後継者等の育成

労働力確保対策パンフレットの更なる周知に努め、業界の果たす役割等について積極的に情報発信を行うとともに、新卒者等の採用に向けた取り組みについて検討した。

また、優秀な人材を育成するため、物流経営士の認定事業を実施し活用を図り、優秀な管理者を育成するため、中小企業大学校の講座受講を促進した。（講座受講者 1社4名）

〔経営改善委員会〕

1. 最重点項目

(1) 物流効率化の促進と経営基盤の強化

荷主企業や物流関係企業の経営者などが、経済社会の動向やトラック業界に関する課題などを共有し理解を深め、各企業と県内産業全体の一層の発展を図ることを目的とした荷主企業と物流事業者のための経営セミナーを開催した。

開催日時：平成29年1月27日（金）15時00分～18時00分

開催場所：熊本ホテルキャッスル 2階キャッスルホール

参加者：会員、荷主企業等 171名

講演Ⅰ：「人手不足をどのように克服するか ～熊本地震を例に～」

講師 日本銀行熊本支店 支店長 竹内 淳一郎 氏

講演Ⅱ：「安倍政権と今後の日本」

講師 東京新聞・中日新聞 論説副主幹 長谷川 幸洋 氏

(2) 原価管理に基づく適正運賃収受の推進

① 原価意識強化セミナーの開催

トラック運送事業が持続的かつ収益力のある産業として発展していくため、原価水準に見合った運賃収受に向けた取り組みとして、運送事業における経営全体の改善や取引先との交渉力強化に向けた内容を取り入れ、収益力の向上に焦点をあてたセミナーを開催した。

日時：平成28年11月15日（火）13時30分～17時00分

場所：(公社) 熊本県トラック協会研修センター

参加者：25社31名

内容：原価計算の実践、生産性向上に向けた原価管理、取引先との運賃交渉力強化

講師：(株)近代経営システム研究所 代表取締役 森高 弘純 氏

② 燃料価格変動対策

・適正運賃収受の推進

荷主企業に対して、トラック運送業界の窮状をご理解いただき、経営基盤強化の実現のため、会員事業者名と協会長名の連名の適正運賃収受の協力文書を作成し、希望する会員事業者に対する配布を行った。(16社118枚)

また、燃料サーチャージに関する届出方法等の相談業務に関する窓口を引き続き設置した。

・陳情・要望活動の展開

主要荷主団体をはじめ、地元の国会議員及び政権与党、関係行政機関等に対する協力支援の要請を行った。

2. 重点項目

(1) 事業後継者等の人材育成

将来のトラック業界を担う優秀な人材を育成するため、青年部会における研修会の実施や社会貢献事業の取組み等に対する支援を行った。

- ① 熊本地震復興支援イベント 平成28年8月3日(水) エミナースプール
- ② 物流業における改善活動の取組み事例研究会 平成28年11月25日(金)

(2) 金融対策等の支援

会員事業者の近代化合理化及び環境対策を推進するため、近代化基金による融資の推薦を行うとともにその利子の補給を行った。(推薦件数5件)

(3) 自営転換の推進

熊ト協ホームページに掲載し、営業用トラックによる輸送効率化を促すため、会員事業者の企業情報などの提供を行い、自家用トラックでの輸送を行っている荷主企業等に対して自営転換の推進を図った。(登録事業者数294社)

(4) 中小企業対策事業の活性化

会員事業者の経営安定のために、熊本地震被災事業者に対する支援策をはじめとする助成金や融資制度について熊ト協の「トラック広報くまもと」及びホームページに掲載し周知を行った。

(5) アドバイザー制度の導入

会員の経営に資するため法律・経営・労務に関する専門のアドバイザーに業務を委託して、会員事業者からの相談・要望に対応するため、相談窓口を設置し、アドバイザーの増員を図った。

- 法律アドバイザー・・・北里敏明氏(弁護士)
江越和信氏(弁護士)
河津和明氏(顧問弁護士)

- 経営・労務アドバイザー・・・(株)近代経営研究所
 (株)瀧澤・佐藤事務所 瀧澤 学氏
 (株)プロデキューブ 高柳勝二氏

3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 経営分析及び個別企業診断等の活用

中小トラック運送事業者の経営実態の把握と個々の経営改善への取り組みに資するため、全ト協と連携し経営分析報告書の策定及び個別企業診断の積極的な活用を周知し、利用促進を図った。(診断件数14件)

(2) 中小企業信用保険法業種指定のための輸送量等にかかる実態調査

信用保険法に基づく業種指定を受けるために、トラック事業者の輸送量等を全ト協と連携し調査を行った。(20社、年4回実施)

(3) 自家用燃料供給施設整備支援助成事業

全ト協と連携し、運送事業者や協同組合が燃料の安定的な確保を目的に導入する自家用燃料供給施設に対する助成を行うとともに、助成を受けた供給施設の大規模災害時の際の緊急輸送時における燃料供給体制の整備を推進した。(助成件数2社)

(4) 中小企業大学校の講座受講促進

中小企業基盤整備機構が運営する中小企業大学校の講座受講促進制度について、トラック広報くまもとやホームページ等を活用して周知を行った。(助成件数1社4名)

(5) トラック運送業の生産性向上促進事業

貨物自動車運送事業の経営の構造的な改善を図ることを目的に平成28年度第2次国土交通省補正予算により実施された「テールゲートリフターの導入に対する補助事業」の執行団体である(公社)全日本トラック協会と連携し、補助金申請の受付を実施した。

① テールゲートリフター導入に対する補助

受付期間：平成29年2月1日(水)～24日(金)

申請状況：16社31台

補助額：9,300千円(内訳：床下格納式28台、後部格納式3台)

平成28年度事業報告

〔専門部会〕

現在設置されている7部会において、輸送秩序の確立や、事業経営の円滑化等共通の項目について推進を図った。

なお、本年度の各部会の活動は次のとおりです。

1. 食料品部会

- ① 平成28年7月28日（木）ホテル横浜ガーデン・全ト協第37回食料品部会
- ② 平成28年8月18日（木）福ト協会議室・第1回九州ブロック食料品部会
- ③ 平成28年8月26日（金）熊ト協会議室・第1回部会員会議
- ④ 平成28年9月3日（土）富士ホテル・福ト協食料品部会全体会議及び実務担当者研修会
- ⑤ 平成28年11月28日（月）福ト協会議室・第2回九州ブロック食料品部会
- ⑥ 平成29年1月23日（月）熊ト協会議室・第2回部会員会議
- ⑦ 平成29年3月3日（金）ホテルセントラザ博多・九州各県食料品部会全体交流会

2. 木材輸送部会

- ① 平成28年7月16日（土）ホテルレクストン鹿児島・南九州四県合同部会長会議
- ② 平成28年9月6日（火）鹿児島サンロイヤルホテル・南九州四県合同事務局会議
- ③ 平成28年9月9日（金）八代ホワイトパレス・第1回部会員会議
- ④ 平成28年10月14日（金）ホテルレクストン鹿児島・南九州四県合同全体会議
- ⑤ 平成29年1月24日（火）熊ト協会議室・第2回部会員会議

3. 重量物輸送部会

- ① 平成28年4月13日（水）全ト協会議室・全ト協重量部会常任委員会
- ② 平成28年6月9日（木）JRホテルクレメント高松・全ト協重量部会通常総会
- ③ 平成28年7月16日（土）五郎八・第1回部会員会議
- ④ 平成28年11月15日（火）全ト協会議室・全ト協重量部会全国実務担当者研修会
- ⑤ 平成29年2月2日（木）ロワジュールホテル那覇・全ト協重量部会経営者研修会
- ⑥ 平成29年2月18日（土）紅蘭亭・第2回部会員会議

4. ダンプカー部会

- ① 平成28年9月8日（木）全ト協会議室・第40回全ト協ダンプトラック部会
- ② 平成28年10月25日（火）ANAクラウン[®]ラザ[®]ホテル熊本ニュースイ[®]・第1回部会員会議
- ③ 平成28年10月25日（火）ANAクラウン[®]ラザ[®]ホテル熊本ニュースイ[®]・九州三県トラック協会ダンプ[®]カー部会

- ④ 平成29年1月24日（火）熊ト協会議室・第2回部会員会議
- ⑤ 平成29年2月8日（水）全ト協会議室・第1回各トラック協会ダンプトラック部会長会議

5. 引越部会

- ① 平成28年6月21日（火）ホテルポールスター札幌・第41回全ト協部会
- ② 平成28年11月18日（月）全ト協ホール・第42回全ト協部会総会
- ③ 平成29年2月1日（水）熊ト協会議室・第1回部会員会議

6. セメント部会

- ① 平成28年7月8日（金）全ト協大会議室・第34回全ト協セメント部会
- ② 平成28年8月23日（火）熊本県トラック協会城南支部会議室・第1回部会員会議
- ③ 平成28年11月24日（木）ホテルマリックス・九州四県合同全体会議
- ④ 平成29年1月23日（月）熊本県トラック協会城南支部会議室・第2回部会員会議
- ⑤ 平成29年3月14日（火）全ト協ホールセメント部会・生コンクリート輸送部会合同研修会

7. 青年部会継運会

(1) 会議関係

- ① 総会 平成28年 5月14日（土）ANAクラウン プザ ホテル熊本ニューカイ
- ② 部会役員会 平成28年 5月14日（土）ANAクラウン プザ ホテル熊本ニューカイ
- 平成28年 6月23日（木）熊本県民交流館パレア
- 平成28年 8月24日（水）熊本県民交流館パレア
- 平成28年10月26日（水）熊本県民交流館パレア
- 平成29年 1月18日（水）熊本県民交流館パレア
- 平成29年 3月15日（水）熊本県民交流館パレア

(2) 研修会及び交流会関係

- ① 青年部会セミナー（部会員17名及び卒業生10名参加）

平成28年11月25日（金）ANAクラウン プザ ホテル熊本ニューカイ

講演Ⅰ テーマ「業務改善による生産性向上と人財育成」

講師 (株)九州丸和ロジスティクス 業務営業部係長 郷原 良和 氏

講演Ⅱ テーマ「生協物流を物流現場から変える全体最適化提案

～供給増を目的に物流業からロジスティクスへ～

講師 (株)シーエックスカーゴ 第二事業本部 鳥栖流通センター

流通センター長 久保 政宏 氏

専門講師を招聘し、部会員のスキルアップを図るとともに、部会員相互の交流を深めた。

- ② 先進企業等視察（14名参加） 平成28年 8月20日（土）

(ア) (株)五健堂（京都府京都市伏見区横大路菅本2-58）

(イ) 近畿ブロック大会参加

京都市内の物流事業者のご協力を得て、物流倉庫を含む視察研修を行い、先進企業における企業の取組等を学んだ。

(3) 全国物流青年経営者中央研修会等への参加

①全国代表者会議（部会長等参加）

平成28年 6月17日（金）全日本トラック協会会議室

平成28年11月24日（木）全日本トラック協会会議室

平成29年 2月23日（木）全日本トラック協会会議室

②九州ブロック大会（部会員16名参加）

平成29年 2月 4日（土）唐津シーサイドホテル

③全国大会（部会員10名参加）

平成29年 2月24日（金）京王プラザホテル

(4) 九州地区運輸青年部連絡協議会役員会

○第31回(公社)全日本トラック協会九州ブロック大会を充実した大会にするため、各県の役員（正副部会長）で開催内容等について協議検討を図った。

①平成28年 7月 5日（火）熊本ホテルキャッスル

②平成28年 9月28日（水）唐津シーサイドホテル

③平成28年11月15日（火）熊本ホテルキャッスル

④平成29年 1月16日（月）福岡県就労支援事業者機構（就労支援勉強会）

(5) 他県トラック協会青年部及び異業種との交流会

○他県トラック協会青年部と交流を深めた。

①平成28年10月 9日（日）長野県佐久地区トラック輸送協議会

②平成28年11月 7日（月）東京都文京支部青年部

○熊本県中小企業団体中央会青年部協議会を通じて異業種交流会へ参加し交流を深めた。

①中小企業団体中央会青年部協議会総会（参加者5名）

平成28年 6月28日（火）熊本ホテルキャッスル

②若手経営者育成研修会（参加者1名）

「デザイン書道が伝える力～名は体を、書は企業を表す～」

デザイン書道家 中川 道代 氏

平成28年12月2日（金）武蔵ビル・オアシス

(6) 協会本部・支部と連携して行った活動

①「トラックの日」関連事業

・「トラックの日サンクスマッチ」

平成28年9月25日（日）うまかな・よかなスタジアム

青年部会が主体となり、地元サッカーチーム「ロアッソ熊本」の公式戦（サンクスマッチ）に冠試合（スポンサー）としてジョイントし、広く県民にトラック運送業界についてPRを行った。

②環境クリーンキャンペーン

各支部で行う主要道路や公園等の清掃活動に積極的に参加した。(10月)

③各種講習会・セミナー等

協会本部の主催するセミナー・講習会に参加し、必要な知識の理解促進と受講者間の人的ネットワークの醸成に努めた。

(7) 全ト協と協力して行った活動

熊本地震の被災地支援を目的に行われた復興支援イベントに対して、開催地青年部として協力を行った。

平成28年8月3日(水)阿蘇熊本空港ホテルエミナースプール

熊本地震被災者支援イベント「夏だ!!みんなでプールに行こう!!～日本はひとつみんなを笑顔にしたいくて～」(青年部役員等10名参加)